別マガ班長絶賛!! 特別読み切り50P!!!
108年／走馬燈人生
斉藤誠 19歳春
田中鹿輔
新しい生活の幕開けと共に
俺の人生は幕を閉じた
ドザッ
ピーポー
ピーポ
あ・・俺 死んでる 落ちて死んだんだ
せっかく受験受かったのに・・
カツン
クターン
――ええ まあ そういう訳でですね

あなたは死にました

よって今から死亡手続きに入らなければなりません

あ 私は死神
フランクに死にちゃん
とでもお呼び下さいな

よろしクマ♪

でも今 人類多すぎ
更に言うなら
死にすぎなんです

総人口72億人!!

……へ？

大学の新入生歓迎コンパにて
未成年で飲みすぎた上に
ハメを外してビルから転落・・

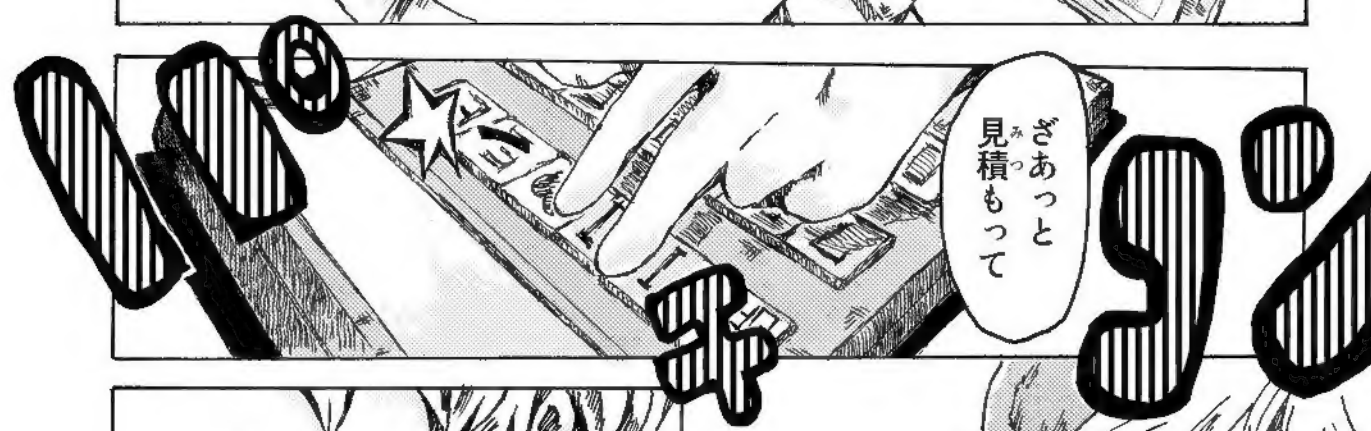
The End.

想像しうる限り
アホアホランク
最大のゴミっぽーい
死に方・・・・

こういうの心証悪いから
手続きの方も後回しに
なっちゃうんですよ
ねえ・・・・

ざあっと
見積もって

パン

・・・

108年・・・・
あなたには108年の
死亡猶予が
付与されます

・・・・へっ？

しかし我々も鬼ではない 108年もの間無の中で過ごせとは言いません

あなたは この今まで生きてきた19年の中から

死の前日までの全ての日を108年間好きに選んで生きて下さって結構 まあ いわゆる走馬燈だとでも思って下さいな

選択した日の
0時から24時まで
どう過ごすかは
あなたの自由

それって……

わーまことくん

ドヤァー

すごーい

しかし
あくまで走馬燈
24時を過ぎれば
周囲の記憶は
全てリセット

は？何言ってんの？

100点とったじゃん

キモーイ

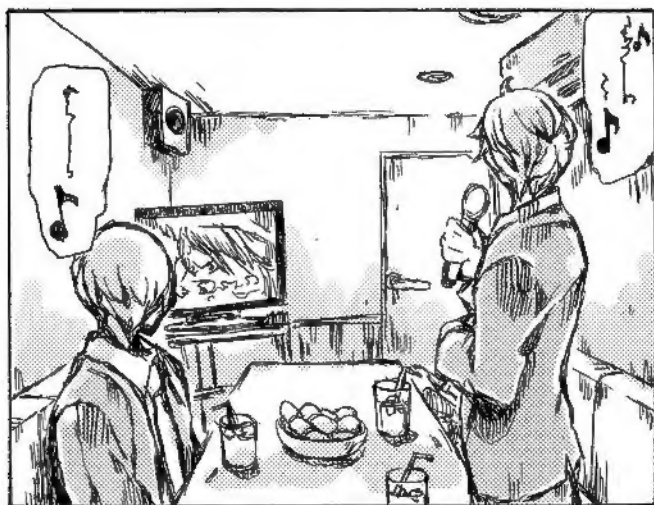
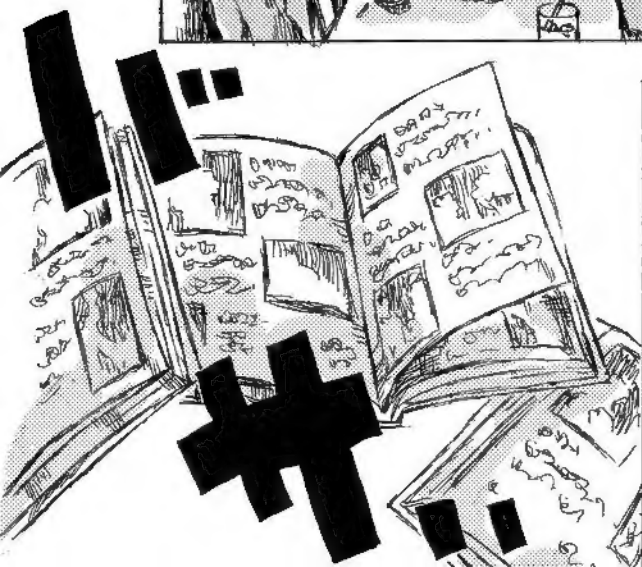
え昨日オレ

テストで良い点取ろうが
大地震を予言しようが
だぁれも覚えてちゃ
くれませんよ？

ぷっすー♪

あ・・はは・・なるほど

――まぁ何にせよ俺は
これから人の一生分もの間
何のストレスもなかった
楽しい日々だけを
選んで生きられる

父さんと母さんには
悪いけど…これって少し
ラッキーだったのかも

次はこの日に……
あ 修学旅行も楽しかったなぁ
ディ○ニーも
小学校のキャンプに……
あー 山下とか懐かしいな
久しぶりに会うか……
ウキウキ♪
ウキウキ♪

折角の走馬燈の中で
ゲームに漫画に本にと
現実逃避に
明け暮れる毎日・・・・

カチ

カチ

楽しい日々は一体
どうしたというの?

——いくら
楽しかった時間を
もう一度送ったところで

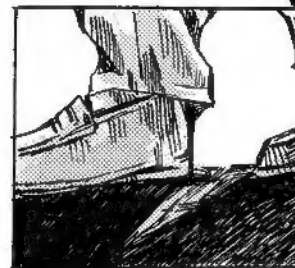
同じ日を10回20回と
繰り返せば

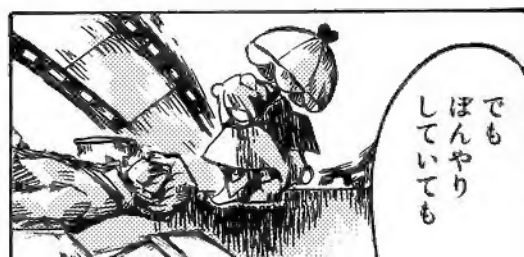
楽しかった
日々は色あせて

ああ・・・・
こんなもんだったのかという
失望に変わっていった

永井のヤツ まじで
ムカつくなー

同じセリフに仕草に
同じ行動・・・・

マジそれな
ボイコットして
やろっか

これじゃあ まるで
ロボットと話して
いるのと同じだ
——どうして
気づかなかったのだろう

──斉藤 誠　死亡受け付け作業まで 85年11か月・・・・

時が経つのは遅いでしょう・・・・？

あら でもまだあるみたいじゃない

繰り返していない日々・・・・

中学2年の1年間・・・・

俺の薄っぺらい下らない人生の中には一つだけ

どうしても思い出したくない後悔があった

――少しだけこの時間をやり直してみるのもいいかもしれない

文の目的語の後ろにある…
…
あー…つまり それだから前にある名詞を修飾する形で この不定詞というのが…
形容詞的用法といってだな…

──思い出したくないその理由というのは彼女だった

彼女…倉木 蛍は
俺のせいで死んだのだ
──多分

倉木は倉木で ちょっと 性格に難のある 嫌な奴で

俺は次第に 同情しなくなっていった

じゃあ柔軟二人組ー

ス…

先生 私

誰とも組みたくないので一人でやります

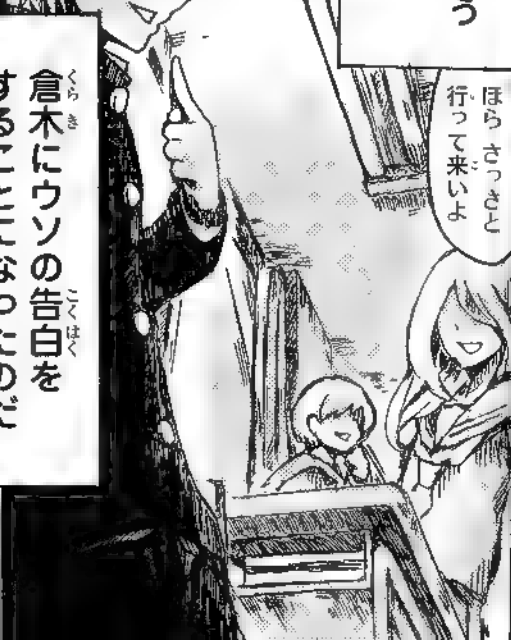
──一人でも気にすることなくむしろ堂々としていて

誰も組んでくれねーの間違いだろっっつー

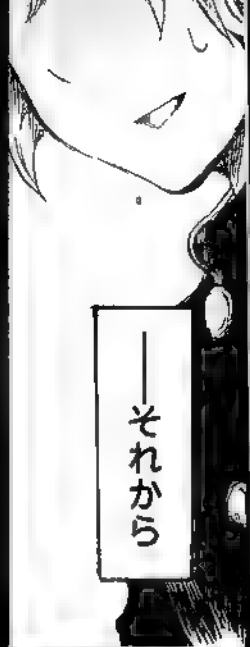
はは・・マジ それな

俺には一生できなそうなことを平気でやる所を少し生意気と思っていたかもしれない

…

そんなある日 俺は掃除当番をサボったとかいう そんな下らないことの罰ゲームとして

言ってしまった！
殺されない
かもな俺…
…や…
ザァ…
彼女が何かを
言おうとした瞬間
俺は その沈黙に
耐えかねて
…なんて
んな訳ねーだろ
冗談だって冗談
何だよ
ネタばらし早えっつの
いい所だったのによ…
てか割と
満更でもねー
って感じ？
超きめーんだけど
ねえねえ今
どんな気持ち？
…

……本当に生きてる価値もねえ
クソ動物共……
その時の倉木の一言と表情が今でも忘れられない
――その三日後倉木 蛍は死んだ
深夜に校舎の屋上から飛び降りて

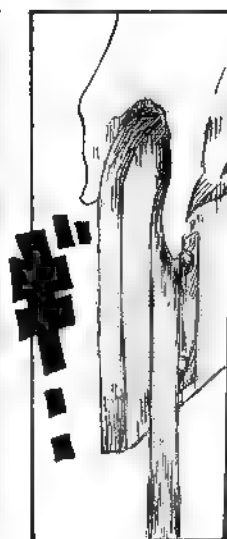
まさか
死ぬなんて…

う うちらのせいじゃ
なくない?

遺書はなく
理由も何も
解らず終いだったが

だから私は
やめよって…

――それから

俺のヘラヘラ
いい加減人生は
ここに至るまでずっと

倉木の死と 怖くて
知りたくない真実から
目を背けた延長線上にある

ようやく俺を

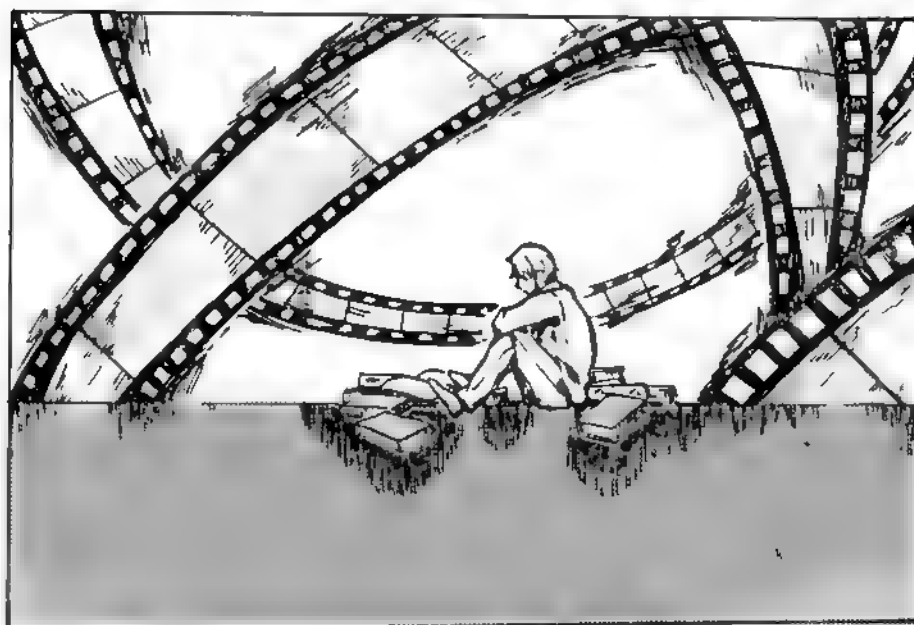
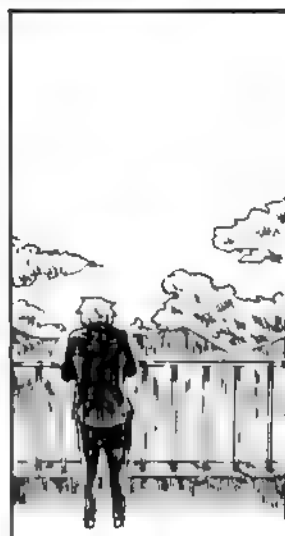
あの時の薄暗い後悔と
向き合うことに
背中を押した

倉木 蛍が
ここには生きていて
そして変わらず
こういう奴だった

この 俺なんか歯牙にもかけていない倉木が
俺の一言二言で死ぬ訳ないのに

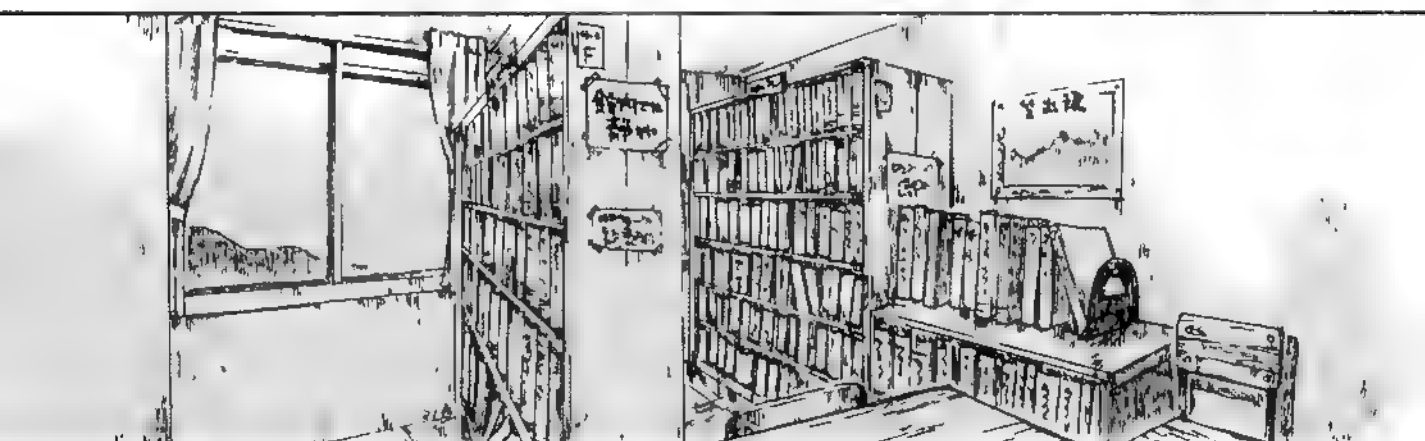
正直 俺は自分があんな死に方をしたのも
俺が倉木にしたことの‥‥

罰でも当たったのだと
思っていたのだ
だから 自分が悲しいとか
生きたいとかより

それで やっと何かを
清算できた気がして

少し・・ほっとしていたんだ

けれど 今ここで
俺はもう一度ちゃんと

倉木の死からも何からも
逃げ続けた自分の人生と
向き合わなければダメだ

――俺が
本当にするべきだった
償いは……

誰も知らなかった
倉木の本心というものを
知ることなんじゃないだろうか

そうして毎日 倉木との
グッドコミュニケーションを探るうち
一つの解にたどり着いた

自由は山巓の空気に似ている

どちらも弱い者には堪えることができない

どうせにわかのくせに……

何かっこつけてんだよ…

俺はこの人の詩 結構好きでさ 何か …言葉が重いんだよな

ああ 私もそれは何冊か 読んだけど…どういう 気持ちなら そんなの 書けるんだろって……

明日 超暑いって 体育やだなぁ……

……そう

じゃーな…次 女子 移動教室だろ？ 遅れるなよ

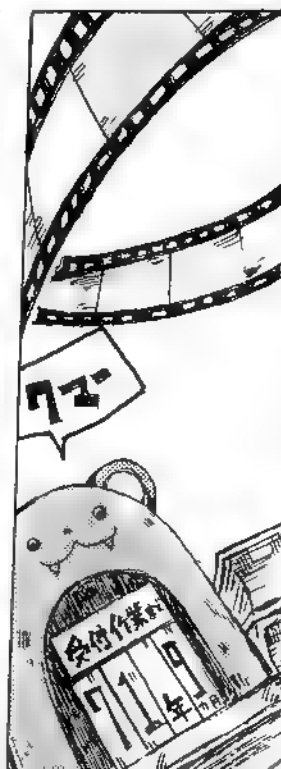
うるせー

けれど 少し匙加減を 間違えると

私はお前らと仲良くなんて……
絶対にならない

気安く話しかけんな

倉木は拒絶する
……

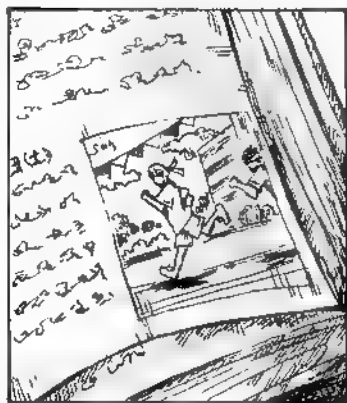
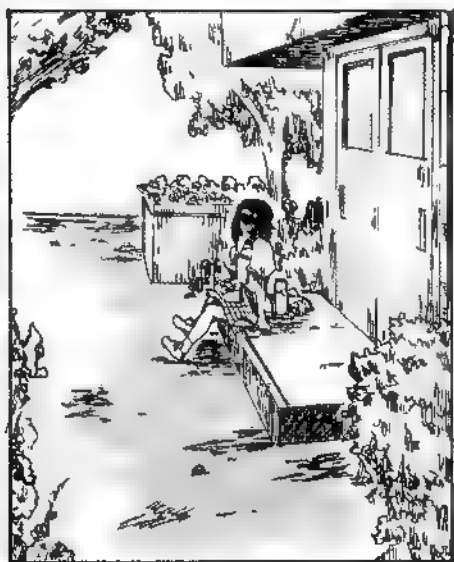
一体 倉木の心の中には何が渦巻いているのか

俺はもっと 倉木 蛍という 人間が知りたい

昼って どこで食べる?
私 焼けたくないから戻ろー

サク‥

‥‥自由は 山巓の空気に 似ている‥‥

‥‥お前 何だよ

キザか

みんなテンション高すぎてさ‥‥ちょっとここで休ませてくれ
お前にゃそっちのが似つかわしいだろうに
はは‥そう言うなって俺だって結構無理してるんだぜ?

実は俺 今50歳くらいだからな‥‥若い子と話すのは結構 苦労するぞ

クス‥
‥‥アホくせ

本当だけど 確かにアホくさい話だよな

俺は思うんだが
だからうちのことじゃなくてぇ
そんなんどっちでもいいだろーッ
クラスの奴らはも少し お前の面白さに気が付くべきだ‥俺も人のことは言えないけどさ

‥‥けど お前も

も少しだけ そのつっけんどんな態度をやめれば‥きっと気が合う友達だって

おべっかに格好つけ
見え透いた人間関係の
延長線上はセックスの猿共

倉本

斉藤

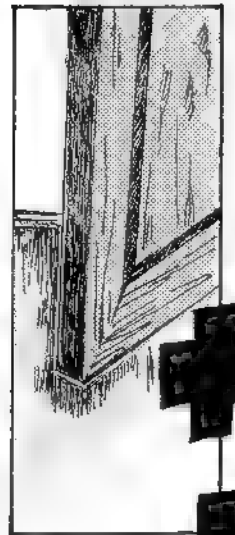
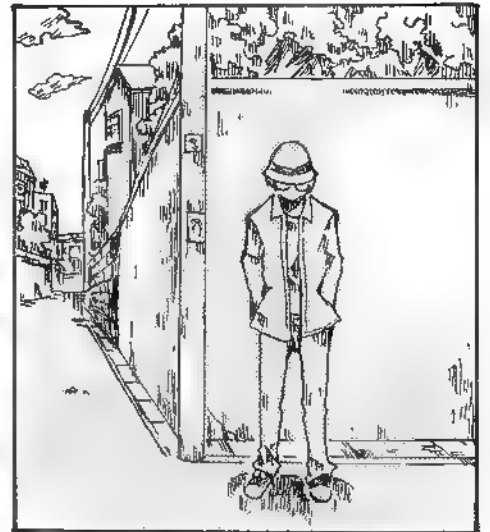
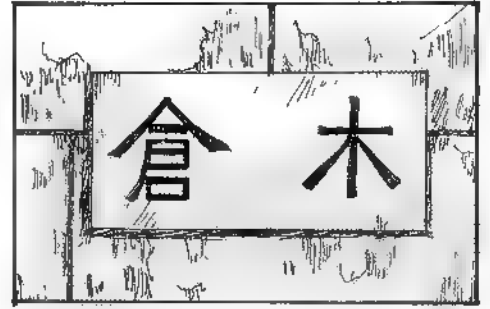
10年先20年先の
未来も想像できないで

いつもキレーな弁当持ってきてるし

…てか 何で私は お前なんかにこんなこと話しているんだろうな…

一番嫌いな人種によ…

どうやら俺はその言葉で一番の地雷を踏み抜いたらしかった

そういえば俺は
学校以外での倉木を
知らない‥‥
倉木
今日 倉木が家族と
出かけるのは
事前の走馬燈で
リサーチ済み‥‥
ああ 新しく
出来た‥来週
家族と行くんだ
倉木との会話スキルが
大分磨かれたな 俺‥‥
ていうか これって
ストーカー的な何かに
なるんだろうか? いや
もう死んでるし 大体
これ走馬燈だし‥‥
いや大丈夫
許される‥よな?
今日は
映画を観て
それからね‥‥
あ‥倉木の両親
若いな‥‥

ね……パパ ママ
だから今日は私の予定に付き合ってね

——そこには俺が学校で普段会う
……
暗黒スマイルをたたえた彼女はいなかった

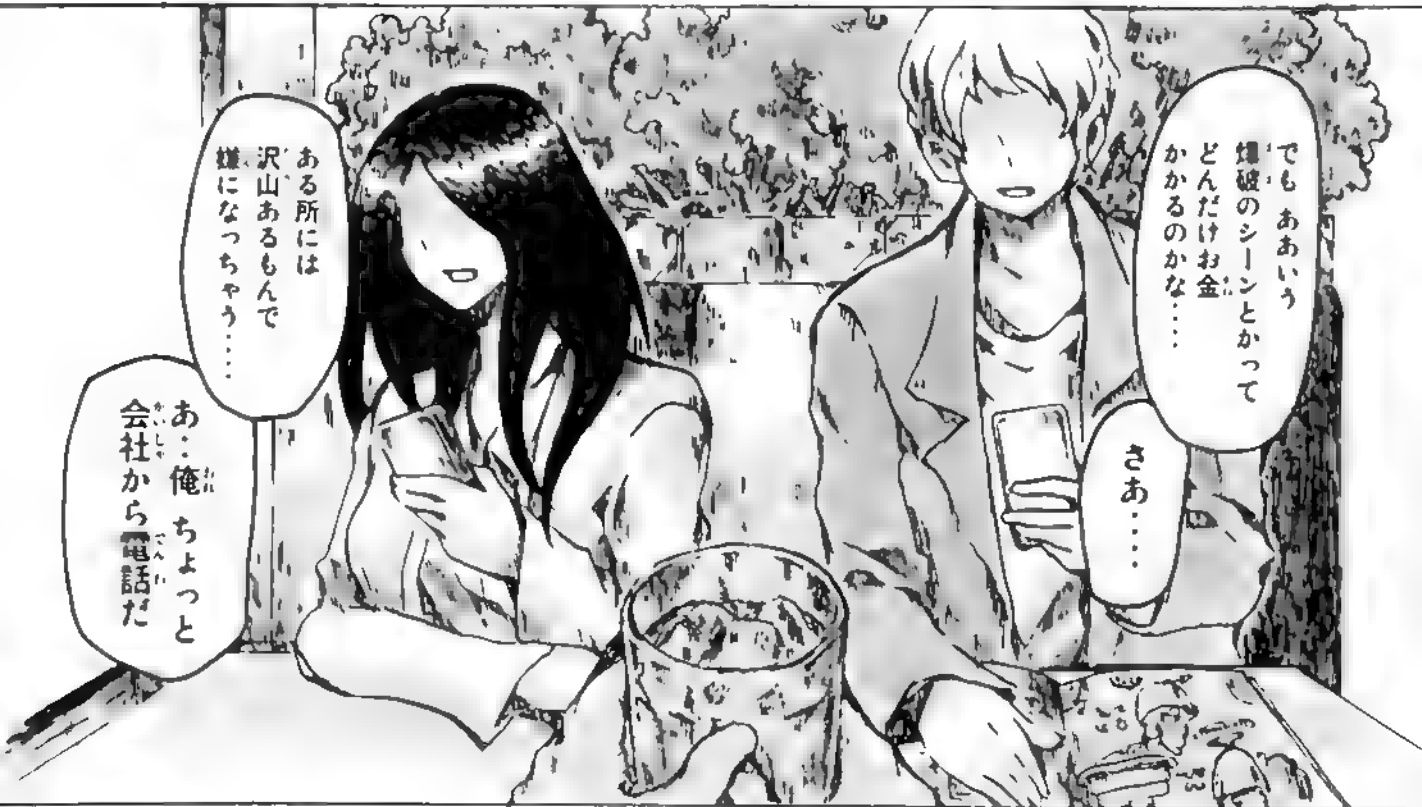
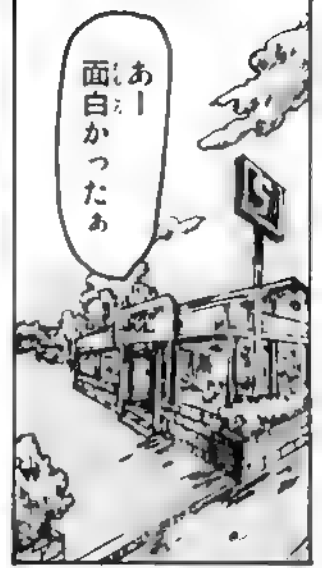
この映画面白いって
みんな言っててね

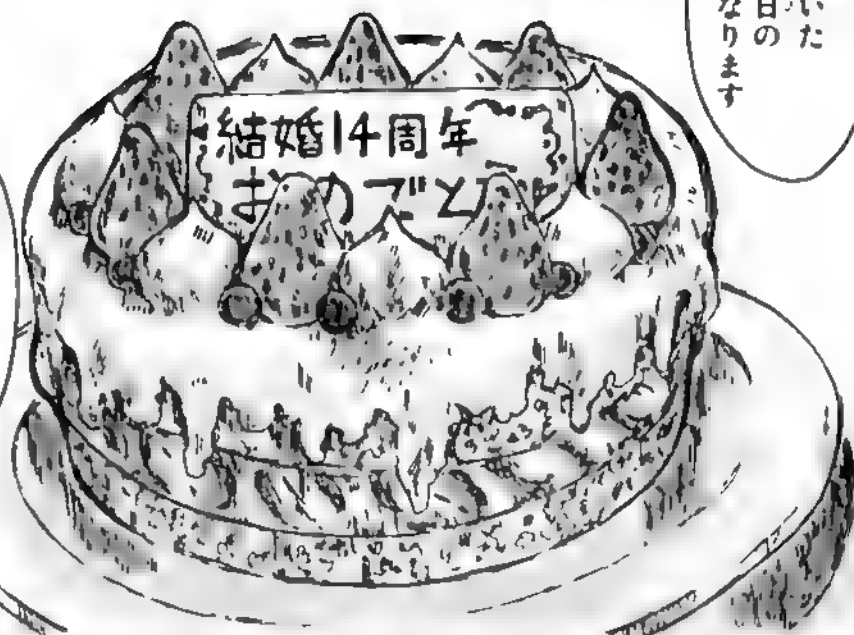
この予告前にママが言ってたやつでしょ?
パパの好きな女優さんも出るんだって

でもああいう爆破のシーンとかってどんだけお金かかるのかな……

さあ……

ある所には沢山あるもんで嫌になっちゃう……

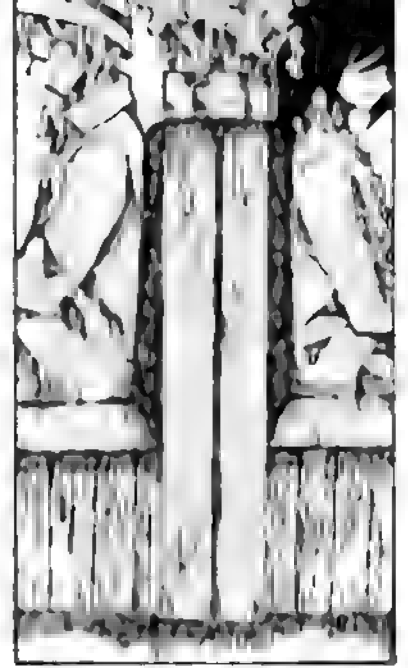
あ‥俺 ちょっと会社から電話だ

こちら
ご予約頂いた
結婚記念日の
ケーキとなります

結婚14周年
おめでとう

ただいまナイフを
お持ち致しますね

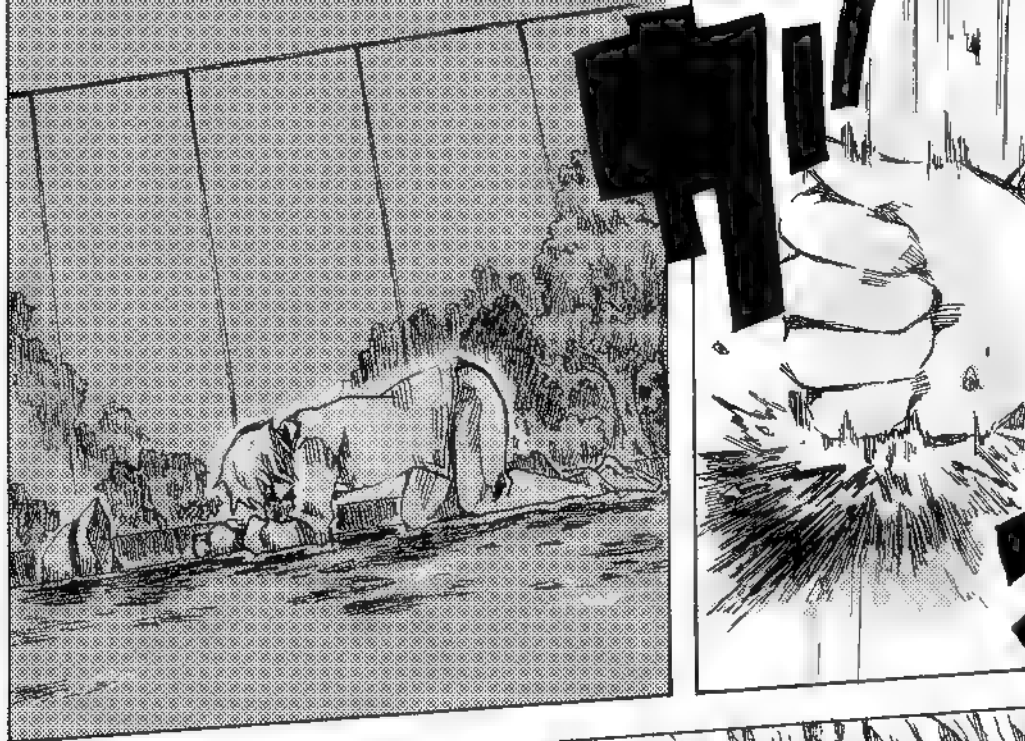
……あら いいのに蛍
これ…高かったんじゃ
ないの？

悪いけど仕事入ったから
これで精算しといてよ……
五千円位でいいかな？

ちょっと！ ケーキ
どうすんのよ……？

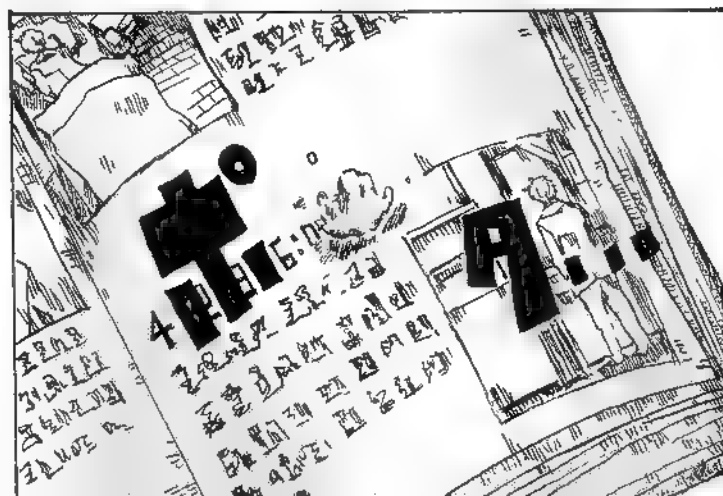
えいや…俺 大体
甘いもの好きじゃ
ないしさ

「一時の感情で 100年どころか
1年で冷める恋で――」

どうして俺は生きている間に
お前がどういう人間なのか
もっと知ろうと 理解しようと
しなかったんだろう

——もし本当に 自分の人生を
やり直せたなら‥あの一日を
覆すことさえできたら

お前は いい奴だよ
倉木‥‥っ
ひねくれてるけど‥‥
ひねた方向にまっすぐで

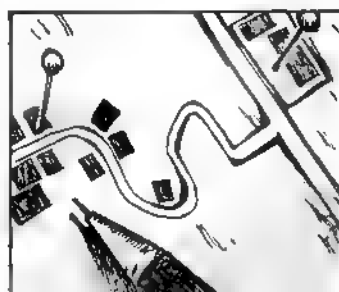
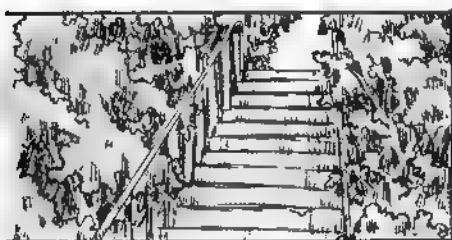
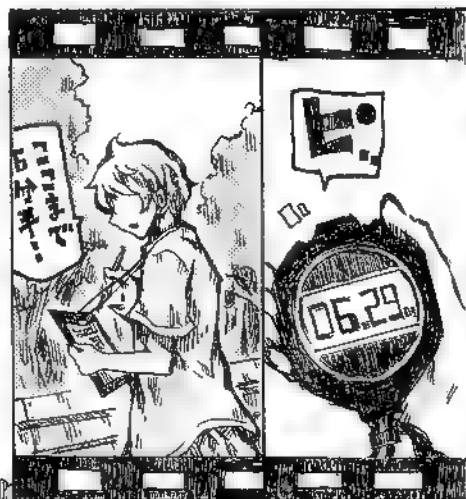
‥‥でも
間違ってる‥‥

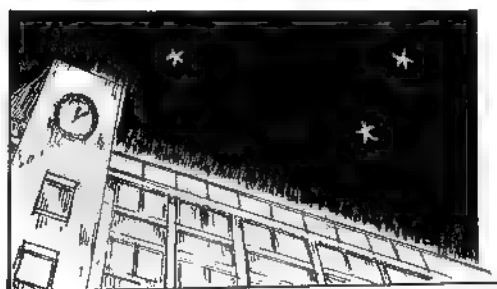
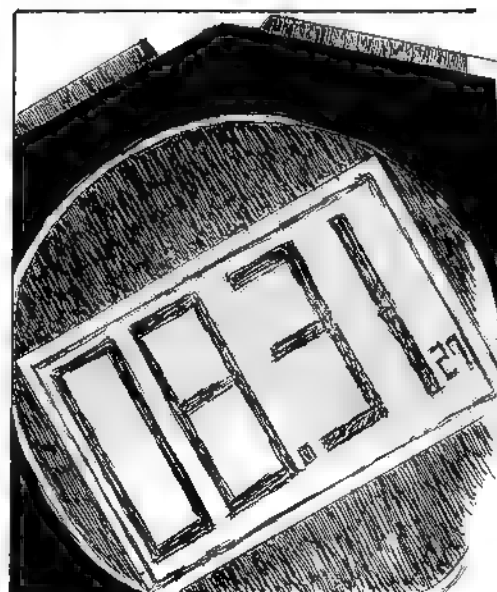
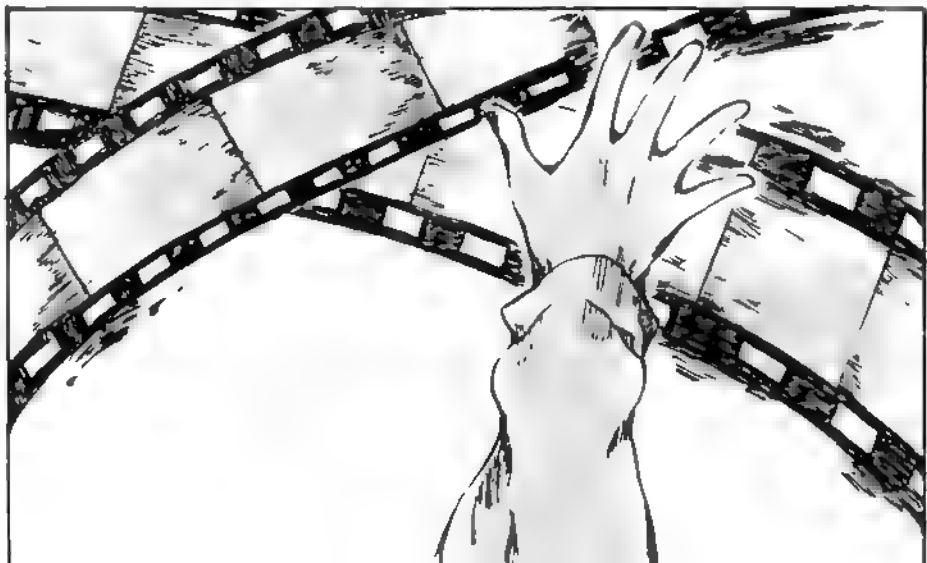
俺はもう
死んでしまったけれど

お前は生きて
幸せにならなくちゃ
ダメだ

この走馬燈は24時で一日がリセットされる

倉木が死んだのは2010年10月2日の24時7分・・・

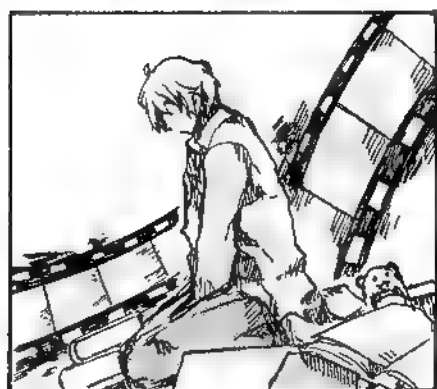
倉木の死を防ぐには家から学校までを7分で駆け抜ける必要がある

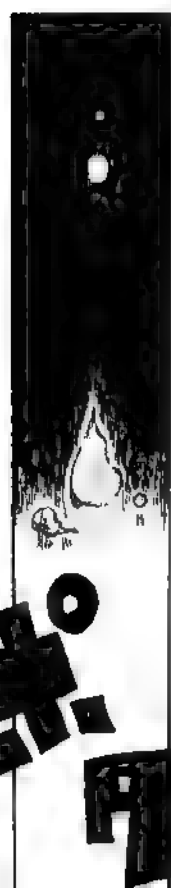
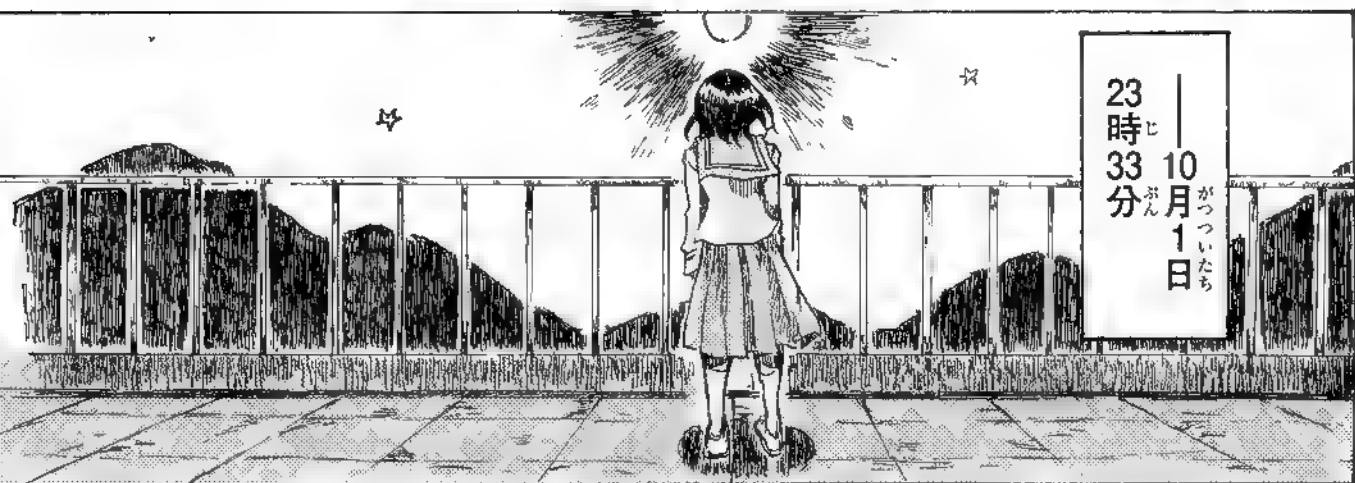
俺の家から学校まで全力で走って20分
山道中心で階段が多く
チャリや車は使えない

民家も少なく助けは借りられない

24時を過ぎれば 周囲の記憶は 全てリセット
けれど 彼女の死という事実だけ
変えることができたら——
もし 1パーセントでも …可能性が あるのなら！
ピッ
06.29
走馬燈の初めの20年も 無駄ではなかった
このカーブは道変えて …いや でも障害物が 多すぎるか…？
随分 こういうゲームを やりこんだものだった
1分1秒 コンマ単位で タイムを縮める為に あらゆる無駄を削って
最短ルートを、考えて煮詰めて…

——けれど 今度は
この先に
生きている間にもなかった
本当の一生がある
2010年
10月
2日
……
体力は成長しない分
完璧なフォームを
2010年
10月
2日
理想の走り
10.32
カチッ
2010年
10月
2日
ワッ
2010年
10月
1日

斉藤 誠　死亡受け付け作業まで あと30日——

どうして俺の人生は

100年もの時をかけて

たった一度の奇跡さえ
起こせないのだろう

70年で縮めた
11分30秒

あと どれだけ
走ったところで
1分30秒は
縮まらない

いいじゃないか
無責任で軽薄だった俺の人生が

まさか70年もの間 たった一つの目標の為に
頑張れるだなんて思わなかった

俺はきっと よく頑張った方だ

っつ・・・・
どうして・・・・
何で・・・・
いっそ倉木に文句でも
言ってやりたいくらいだ・・・・

―10月1日
23時33分

どうして・・・・
お前は死のうとなんて
するんだよ・・・・
倉木の死の直前の この日付も
何十回と繰り返してきた
倉木を助けるヒントになればと

けれど結局 倉木は
サラ・・

・・・・理由か
何も答えないままに一日が終わる・・・・

それはお前に
告白されたからだよ・・・・

・・・・え・・・・?
──終わるはずだったのに

つっても勘違いするなよ お前が好きとかは 絶対ないからな
ビ
ちゃらくて頭悪そうな糞野郎だと思っていた
・・・・嘘だなんて わかっていた それでも私は あの時

それが本当ならいいのに ・・・誰かが私を見つけて 〝何かを変えてくれれば〟 いいのにって そう思ってる 自分に気が付いたんだ

アホな大人になって すぐに消費される愛を 信じるぐらいなら
一生 誰にも頼らず 強く生きてやろうって 思っていたのに・・・・

それでも…結局は
孤独に耐えきれないで
未練がましく
繋ぎとめようとして……

どんなに他人を
動物と笑っても
かっこよく生きよう
としても

私は結局…一人で
生きていけない

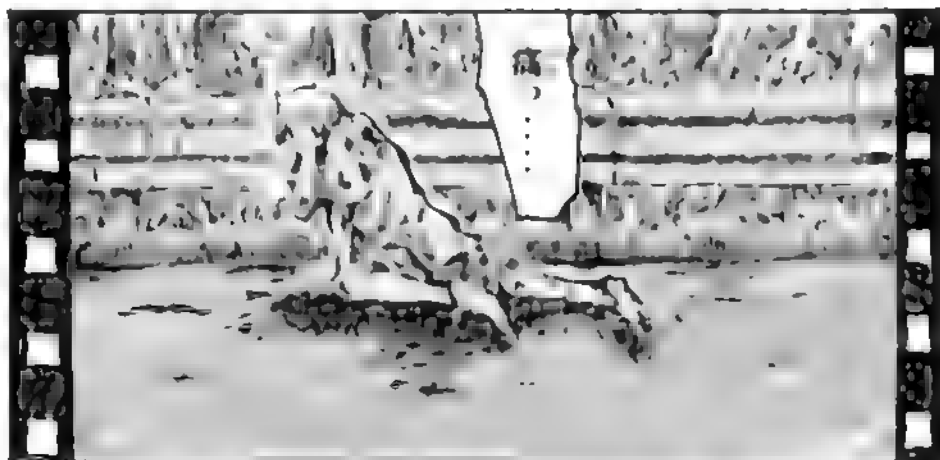
お前らと同じ
ポンコツの…下らない
クソ動物だ……

そんなことまでして手に入れる自由なんてクソくらえだ！

弱くて…動物で……いいじゃないか！耐えられないなら誰かを頼れよ……！

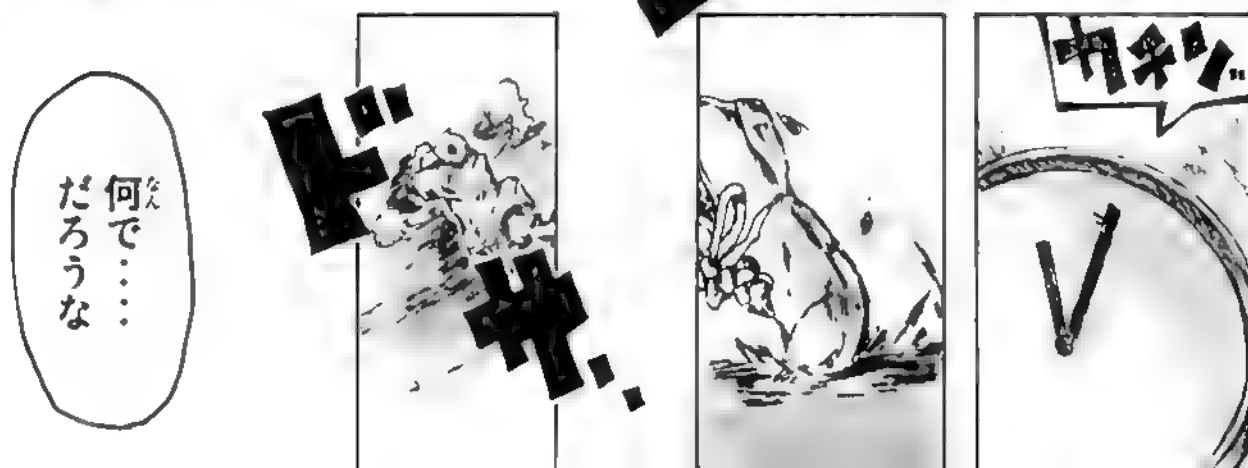
お前は知らないだろうけど本当の愛ってあるよ 例えばここなんかにはな……

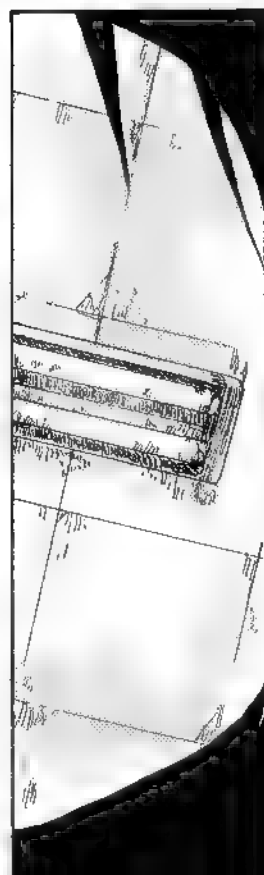
奇跡ならもう起きていたんだ
だから俺は二度と逃げたりなんかしちゃいけない

——学校までの道に10ｍの崖がある
以前ショートカットを試みたが

——斉藤 誠　死亡受け付け作業まで あと1日‥‥

お前が好きだ！

っだから‥‥ッ
死ぬな‥‥！

何で‥‥
だろうな

私は何百年も

——おかしいな……
時計は確かに
24時8分に
なったところだったのに

痛みでなんだか
よくわからないが

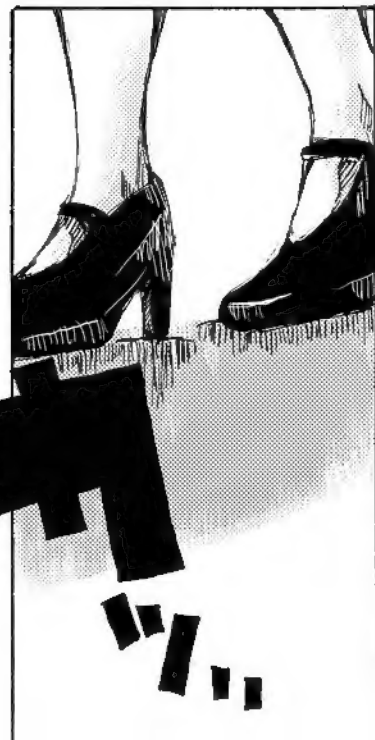
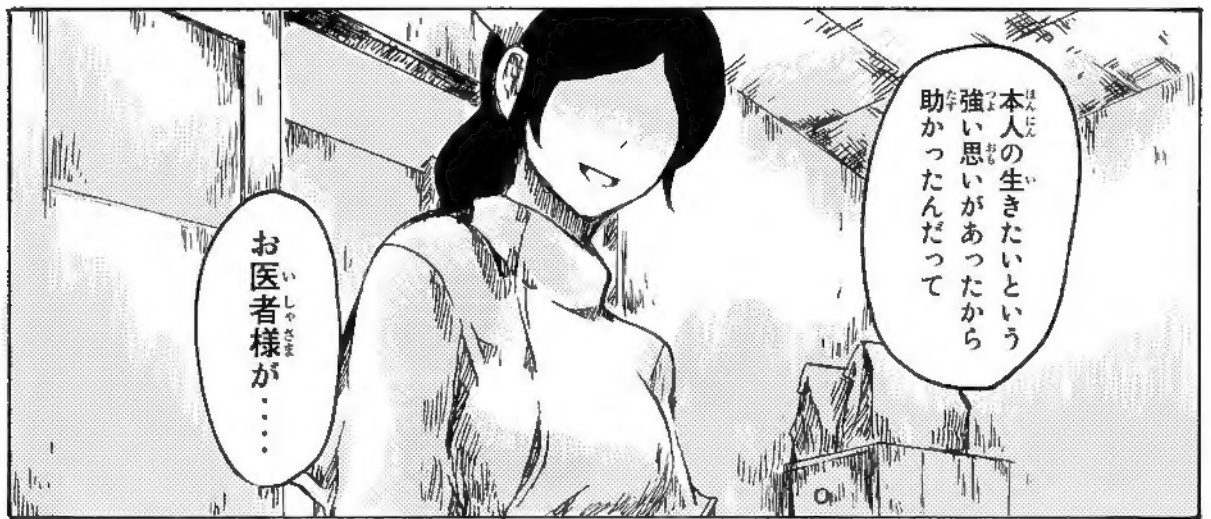
倉木に
声が届いた
気がした

っ・・・・
いってぇ・・・・

ちょっと・・・・
斉藤さん！
動いたらダメですよ

あなた・・・・
ビルの屋上から落ちて
大怪我して・・・ずっと
意識が無かったんですよ？

2015
6

・・・・嘘だろ？
それじゃあ
走馬燈は・・・・？
108年は・・・・？

倉木は・・・・？

助かったのが奇跡くらいの
事故だったんですよ・・・・？
斉藤さん　数年前にも
崖から落ちて大怪我して
いましたよね？
その経験からか
すごく上手に
受け身がとれていた
らしいのと・・・・

本人の生きたいという
強い思いがあったから
助かったんだって
お医者様が・・・・

それに毎日
彼女さんがお見舞いに来て
ずーっと声をかけて
下さっていたんですよ

・・・・彼女？

ザ゛ア゛

ポイニャ

いいんですかぁ……？
あんな手心加えてしまって……
OUT
研究生
あっはは

くっだらないことで若くして死んだ命二つが ちゃんと人間らしくエネルギーを世界に還元してから
死んでくれるようになっただけです
私たち的にも
ウィン
ウィーン
であ
ないですが
……ですが

人と人との出会いは、運命を変える力がある。

‥‥そういうもんなんですか?

そういうもんです‥にゃ

『108年走馬燈人生』終わり——田中鹿輔先生の新作にご期待ください!!